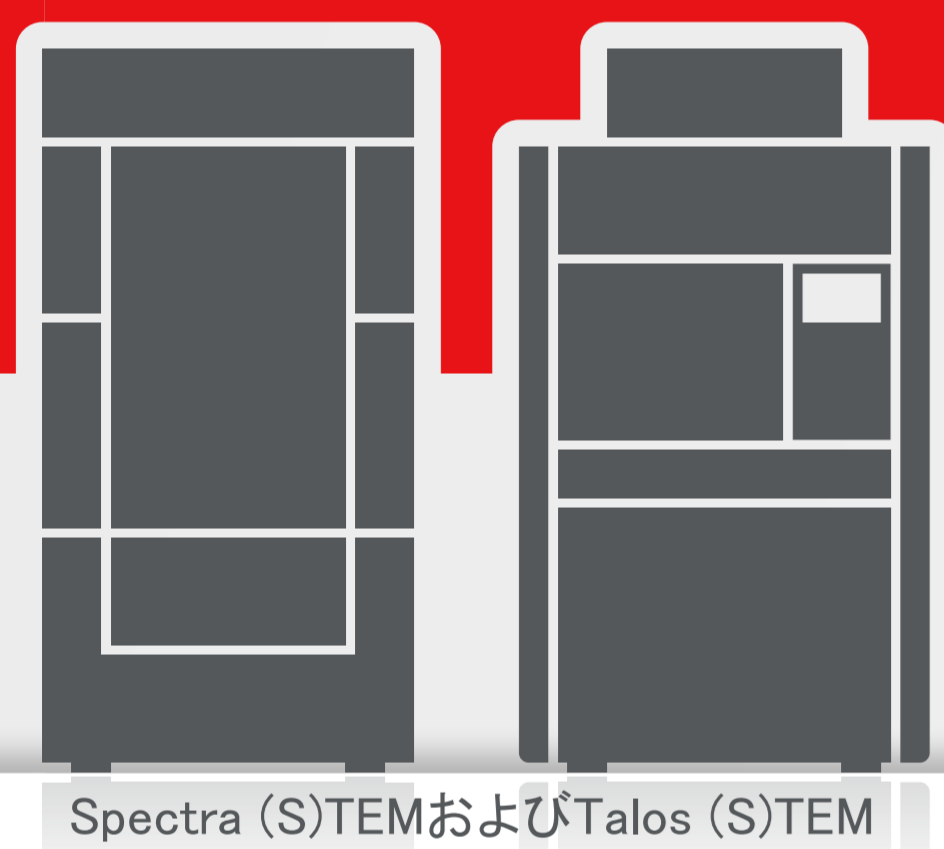


ナノスケールにおける自動粒子解析

正確な統計データを通じて製品の最適化を加速

優れた統計データを迅速に取得

広領域・高解像度イメージングおよびデータ取得。Thermo Scientific™自動粒子解析ワークフロー (APW) では、データ取得、粒子のセグメンテーション、形態・化学情報に関するパラメーターの統計分析を自動化することで、サンプリングから粒子解析までのワークフローを効率化することができます。



Spectra (S)TEMおよびTalos (S)TEM



Veloxが統合されたMapsソフトウェア

サンプリングから粒子解析までを自動かつ無人で

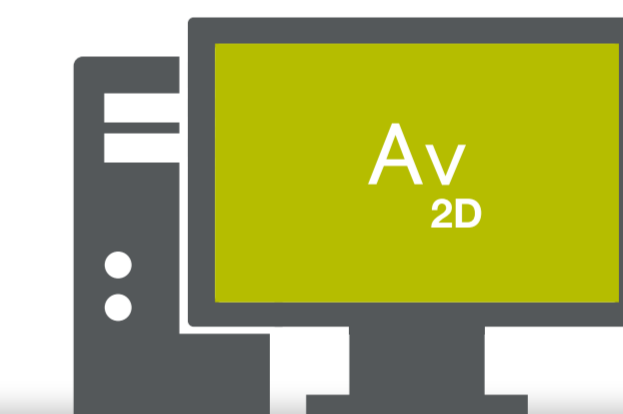
利点

- ✓ 1時間あたり500個を超える粒子に関する統計データが得られる
- ✓ 新しい製品とプロセスを迅速にスクリーニングできる
- ✓ 再現性が著しく向上する
- ✓ TEMを毎日24時間、無人で実行できる

3

解釈

Avizo2D可視化ソフトウェアにより、セグメントされたデータを分析して、サイズ、表面領域、周長、分布、元素組成などの統計データを生成できます。



Avizo2Dソフトウェア

自動ワークフロー

1

取得

Thermo Scientific Maps™ソフトウェアおよびVelox™ソフトウェアを用いると、広領域・高解像度の走査型透過電子顕微鏡 (STEM) イメージングおよびエネルギー分散型X線分光 (EDXS) マップが完全自動かつ無人で取得できます。

2

セグメンテーション

STEM画像とEDSマップが自動かつ無人で取得されている間に、およびThermo Scientific Avizo2Dソフトウェアにより、STEMとEDSマップからの画像と化学情報が使用され、形態や元素組成に基づきナノ粒子が検出・分類されます。

詳細については、thermofisher.com/APWをご覧ください

ThermoFisher
SCIENTIFIC